

1. 当院の新規採用医薬品等について

平成28年10月開催の薬剤委員会の結果、新規採用及び採用中止になった医薬品の詳細等をお知らせします。

新規採用医薬品

医薬品名	規格・単位	薬価	会社名
シクレスト舌下錠 5mg	5mg/錠	274.00 円	明治製菓
スピオルトレスピマツト 28 吸入	28 吸入/キット	4176.40 円	日本ベーリンガー
オラネジン液 1.5%消毒用 アプリーター10mL・25mL	10mL/本 25mL/本	- 円	大塚製菓
タマガワヨードホルムガーゼ	30cm×30cm・15 枚/瓶	- 円	玉川衛材
生食注シリンジ 50mL「ニプロ」	50mL/シリンジ	301.00 円	ニプロ

採用中止医薬品

採用中止医薬品名	規格	代替薬品等
トフラニール錠 10mg (アルフレッサ)	10mg/錠	アナフラニール錠 25mg 他
オキナゾールクリーム 1% (田辺三菱)	10g/本	ニゾラールクリーム 2% 他
テルシガンエロゾル 100 μ g (日本ベーリンガー)	9.5g/本	スピリーバ 2.5 μ g レスピマツト 60 吸入
ハイカリック液-1号 (テルモ)	700mL/袋	ハイカリック RF 輸液 他
グリンス (丸石製薬)	3mg/mL	-
ザルコニン液 0.1 (健栄製薬)	1mg/mL	オスバン消毒液 10%

後発医薬品への切替え品目

先発医薬品名	切替え後発薬剤名称	薬価
ノバスタン HI 注 10mg/2mL (田辺三菱)	アルガトロバン注シリンジ 10mg 「NP」 (ニプロ)	1237.00 円

(注意) 後発医薬品はヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) の適応がないため、当該適応への使用については、先発医薬品を限定採用品とし、薬剤部内へ常時適切な在庫をした上で使用することとしております。

院外処方登録医薬品

医薬品名	規格・単位	薬効	薬価
フィコンパ錠 2mg・4mg (エーザイ)	2mg/錠 4mg/錠	他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の下記発作に対する抗てんかん薬との併用療法 部分発作(二次性全般化発作を含む) 強直間代発作	189.70 円 310.20 円
メトグルコ錠 500mg (大日本住友)	500mg/錠	2 型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。 (1)食事療法・運動療法のみ (2)食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用	16.70 円
エクリラ 400 μg ジヤヌエア 60 吸入用 (杏林)	60 吸入 /キット	慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解	6224.40 円
トルリシティ皮下注 0.75mg アテオス (大日本住友)	0.5mL/キット	2 型糖尿病	3586.00 円

《新規採用医薬品》

商品名・英名 メーカー名・貯法	一般名・配合成分・規格・ 規制・生物由来	効能・効果
シクレスト舌下錠 5mg Sycrest sublingual tablets (明治製菓)	アセナピンマレイン酸塩 5mg/錠 劇薬	統合失調症
スピオルトレスピマツト 28 吸入 Spiolto Respimat (日本ベーリンガー)	チオトロピウム臭化物水和物\オロダテロール塩酸塩 28 吸入/キット	慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解(長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β2 刺激剤の併用が必要な場合)

タマガワヨードホルムガーゼ Tamagawa iodoform gauze (玉川衛材) 遮光	ヨードホルム 30cm×30cm・15枚／瓶	創傷、潰瘍の殺菌・消毒
オラネジン液 1.5%消毒用 アプリケーションナー10mL・25mL Olanedine solution antiseptic applicator (大塚製薬)	オラネキシジングルコン酸塩 10mL／本 25mL／本	手術部位(手術野)の皮膚の消毒
生食注シリンジ 50mL「ニプロ」 Isotonic sodium chloride solution syringe (ニプロ)	生理食塩液 50mL／シリンジ	注射:細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時、注射剤の溶解希釈剤 外用:皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布、含そう・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進 皮膚・創傷面・粘膜の洗浄、湿布に用いる。 その他:医療用器具の洗浄

2. 当院の院外処方せん発行状況について

平素より、院外処方せんの発行にご協力頂いております。下記の平成28年度院外処方せん発行率の表のとおり、当院の院外処方せん発行率は90%未満となっております。院外処方せんの発行促進により、医薬品購入費ならびに医薬品在庫金額の抑制につながりますので、さらなる院外処方せん発行率の向上にご協力をお願い致します。

●平成28年9月院外処方せん発行率：84.8%

